

地域医療の連携に関するアンケート調査

～市内医科診療所対象～

市内の医科診療所の皆様方には、日頃から生駒市の保健医療行政に対し、御尽力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、現代は、急激に高齢化が進み、慢性疾患が増大し、ひとつの病院だけで全ての患者を長期にわたって診ることは困難になり、地域の診療所の医師と病院の医師が連携しながら診ていかななくては、十分な診断・治療が出来ない時代になってきておりますことは周知のことと思います。

そのような状況下、本市では、来年6月の市立病院の開院を機に、従来の地域の医療連携体制を、市民・患者主役の視点に立った、さらによいものへと再構築をさせていただきたく、市長の諮問機関である本市病院事業推進委員会の下に医療連携専門部会を置き、検討を始めております。(詳しくは、生駒市公式ホームページの生駒市病院事業推進委員会のページをご覧ください。)

<http://www.city.ikoma.lg.jp/kashitsu/04150/05/01.html>

市内のそれぞれの病院や診療所・クリニック等が、その特長を活かしながら役割を分担して、病気の診断や治療、検査、健康相談等を行い、地域の医療機関全体で1つの総合病院のような機能を持ち、身近な地域で急性期→回復期・慢性期→介護施設・在宅の各段階において切れ目なく円滑に、市民の皆様が必要とする安全で質の高い医療が提供できる体制を整備することで、安心して暮らせるまちを実現できればと考えております。そして、市立病院が、現在、市内の地域医療を支えていただいております医療機関の皆様のサポート役としての役割をも担っていければと考えております。

このアンケート調査は、本市におけるよりよき地域医療の連携体制の再構築に向け、市内の医科診療所の皆様の現況やご意見をお伺いし、今後の医療連携専門部会の検討の基礎資料として活用させていただくとともに、本市の医療行政に反映させていただくことを目的に実施させていただくものです。

つきましては、お忙しい中恐縮でございますが、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査は、無記名とし、調査の目的以外には使用いたしません。また、お答えいただきました内容は、すべて統計的に処理され、回答が外部に漏れることはありませんので、ありのままに御回答ください。

平成26年3月

生駒市長 山下 真

ご記入にあたってのお願い

- ・このアンケートは、ご自身でご記入ください。
- ・全部で10ページあります。(記入には10分程度を要する見込みです。)
- ・回答の仕方は、あてはまる回答項目の番号を○で囲んでいただく場合と、
 や()内に具体的にご記入いただく場合とがございます。

この調査票をご記入いただきましたら、恐縮ですが、同封の封筒で3月24日(月)までに投函してください。切手は不要です。

なお、この調査についてのお問い合わせは、

生駒市役所病院建設課 TEL:74-1111 内線 492 までお願いします。

・疾患や症状等により特に決まっている紹介先があればご記入ください。

例:循環器内科は ○○病院

- ① ()
- ② ()
- ③ ()

問6 日本医師会では、「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」を「かかりつけ医」と定義しています。以下、その「かかりつけ医」についてお聞きします。

(1) 貴院では、かかりつけ医として患者に提供している医療やサービスは何ですか。該当する番号に印(○)を付けてください。(複数回答可)

- 1 : ※往診や※訪問診療 2 : 病気の予防(定期健康診断、予防接種など)
- 3 : 夜間休日の緊急時の対応 4 : 専門医や病院への紹介
- 5 : 逆紹介患者への対応 6 : 介護サービスの橋渡し
- 7 : 終末期の医療、緩和ケア 8 : 診療科と関係なく幅広く診ること
- 9 : 薬の管理や服薬指導
- 10 : ケータイ、スマートフォン、パソコンのITを活用した診療情報の閲覧や診療予約
- 11 : 人工呼吸器や酸素吸入器などの医療機器の管理
- 12 : 特に、かかりつけ医として患者に提供している医療やサービスはない

※往診とは、通院できない患者の要請を受けて、医師がそのつど診療を行うことです。

※訪問診療とは、定期的、計画的な医療サービス(診療)のことです。

・上記以外に特に提供している医療やサービスがございましたらご記入ください。

(2) 貴院では、かかりつけ医として患者に提供したいができていない医療やサービスは何ですか。該当する番号に印(○)を付けてください。(複数回答可)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 : 往診や訪問診療 | 2 : 病気の予防(定期健康診断、予防接種など) |
| 3 : 夜間休日の緊急時の対応 | 4 : 専門医や病院への紹介 |
| 5 : 逆紹介患者への対応 | 6 : 介護サービスの橋渡し |
| 7 : 終末期の医療、緩和ケア | 8 : 診療科と関係なく幅広く診ること |
| 9 : 薬の管理や服薬指導 | |
| 10 : ケータイ、スマートフォン、パソコン等のITを活用した診療情報の閲覧や診療予約 | |
| 11 : 人工呼吸器や酸素吸入器などの医療機器の管理 | |
| 12 : 全てできている | |

・上記以外に提供したいができていない医療やサービスがございましたらご記入ください。

(3) (2)で(12 : 全てできている)と回答された方以外にお聞きします。なぜ提供したくてもできないと思いますか。該当する番号に印(○)を付けてください。(複数回答可)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1 : 外来診療その他の活動で忙しく余裕がない | 2 : 院内のスタッフ等診療体制が不十分 |
| 3 : 診療報酬上の措置等の制度が整っていない | 4 : 患者への啓発が不十分 |
| 5 : かかりつけ医としての講習・研修を受けていない | |

・上記以外に理由がございましたらご記入ください。

問7 「地域包括ケア」とは、「今後の高齢化の進展に対応し、医療、介護、住まい、予防、生活支援サービスが身近な地域で包括的に確保される体制のこと」(厚生労働省)を言いますが、その「地域包括ケア」の課題とされているのが、「在宅医療の推進」であると言われていています。そこで、以下、その「在宅医療」についてお聞きします。

(1) 在宅療養患者への医療支援の取組みについてお聞きします。訪問診療や往診を行っていますか。該当する番号に印(○)を付けてください。

- 1 : 訪問診療・往診両方 2 : 訪問診療のみ 3 : 往診のみ
4 : 今後条件が整えば行いたい 5 : 行っていない

(2) (1)で(4:今後条件が整えば行いたい 5:行っていない)と回答された方にお聞きします。訪問診療・往診を行っていない理由は何ですか。該当する番号に印(○)を付けてください。(複数回答可)

- 1 : 外来診療その他の活動で忙しく、訪問診療・往診を実施する余裕がないから
2 : 24時間の拘束を強いられるから
3 : 年齢や病気のため体力的・精神的に難しいから
4 : 外来診療だけで十分な収入が得られるから
5 : どのようにして始めたらよいかわからないから
6 : 負担が重そうだから

・上記以外に理由がございましたらご記入ください。

(3) 訪問診療や往診を行っている患者について、依頼元はどこですか。該当する番号に印(○)を付けてください。(複数回答可)

- 1 : 本人・家族 2 : ケアマネージャー 3 : 訪問看護ステーション
4 : 病院 5 : 診療所 6 : その他()

- (3) 在宅への移行支援として、※地域連携パスや※退院支援チーム等の取組みにより、診療所との連携を図ることを計画していますが、その連携に参加しようと思いませんか。該当する番号に印(○)を付けてください。

1 : 参加しようと思う

2 : 取組みによっては参加しようと思う

3 : 参加しようとは思わない

※地域連携パスとは、急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療を受ける全ての医療機関で共有して用いるもの。診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を含め、あらかじめ診療内容を患者に提示・説明することにより、患者が安心して医療を受けることができるようにするもの。

※退院支援チームとは、主治医、病棟看護師、医療ソーシャルワーカーなどがチームとなり、退院後も様々な生活ニーズや課題を持つ患者や家族に対し、そのニーズや課題に応じて、適切な療養状況の選択支援等を行い、患者や家族にとって安心した退院の実現を促進するもの。

・そのように思われた理由をお聞かせください。

- (4) 在宅への移行支援として、在宅患者の増悪時に対応する処置、入院加療用病床を確保する計画ですが、利用しようと思いませんか。該当する番号に印(○)を付けてください。

1 : 利用しようと思う

2 : 条件によっては利用しようと思う

3 : 利用しようとは思わない

・そのように思われた理由をお聞かせください。

- (5) 地域の医療機関との病診連携の一環として、開放型病床を設置する計画ですが、利用しようと思いませんか。該当する番号に印(○)を付けてください。

1 : 利用しようと思う

2 : 条件によっては利用しようと思う

3 : 利用しようとは思わない

・そのように思われた理由をお聞かせください。

(6) 地域の医療レベルの更なる向上に向けて、地域の医療機関を対象とした各種医療教育プログラムを提供することを計画しておりますが、参加しようと思いませんか。該当する番号に印(O)を付けてください。

1 : 参加しようと思う

2 : 内容によっては参加しようと思う

3 : 参加しようとは思わない

・そのように思われた理由をお聞かせください。

(7) 地域の医療レベルの更なる向上に向けて、地域の医療機関との合同症例検討会や救急隊も参加していただいたの定期勉強会の開催を計画しておりますが、参加しようと思いませんか。該当する番号に印(O)を付けてください。

1 : 参加しようと思う

2 : 内容によっては参加しようと思う

3 : 参加しようとは思わない

・そのように思われた理由をお聞かせください。

(8) 地域の医療機関への支援の取組みとして、医療機器(CT, MRIなど)のオープン利用の実施を計画しておりますが、利用しようと思いませんか。該当する番号に印(O)を付けてください。

1 : 利用しようと思う

2 : 条件によっては利用しようと思う

3 : 利用しようとは思わない

・そのように思われた理由をお聞かせください。

(9) 地域の医療機関への支援の取組みとして、市立病院内の検体検査室での血液検査(採血)のオープン利用を計画しておりますが、利用しようと思えますか。該当する番号に印(○)を付けてください。

1 : 利用しようと思う

2 : 条件によっては利用しようと思う

3 : 利用しようとは思わない

・そのように思われた理由をお聞かせください。

(10) 地域の医療機関への支援の取組みとして、手術室のオープン利用を計画しております(手術機器、補助員は市立病院が手配します)が、利用しようと思えますか。該当する番号に印(○)を付けてください。

1 : 利用しようと思う

2 : 条件によっては利用しようと思う

3 : 利用しようとは思わない

・そのように思われた理由をお聞かせください。

(11) 円滑な地域の医療連携体制をめざし、患者の診療情報をデータ化し、インターネット回線等を利用して、診療情報の共有化の検討を行っていくことを計画しておりますが、そのネットワークに参加しようと思えますか。該当する番号に印(○)を付けてください。

1 : 参加しようと思う

2 : 条件によっては参加しようと思う

3 : 参加しようとは思わない

・そのように思われた理由をお聞かせください。

(12) (11)で「1 : 参加しようと思う」「2 : 条件によっては参加しようと思う」と回答された方にお聞きします。患者の診療情報のデータ化、ネットワーク化の仕組みを検討する段階から参画しようと思いませんか。該当する番号に印(○)を付けてください。

- 1 : 検討段階から参画したい 2 : システムが完成してから参加する
3 : わからない

・そのように思われた理由をお聞かせください。

(13) (11)で「3 : 参加しようとは思わない」と回答された方にお聞きします。
なぜ、患者の診療情報のデータ化、ネットワーク化に参加しようと思わないのですか。
該当する番号に印(○)を付けてください。(複数回答可)

- 1 : 導入経費の問題 2 : 現在、導入しているシステムとの整合性の問題
3 : 高齢のため、設備投資を行うつもりはない 4 : 現状のままで支障がない

・上記以外に理由がございましたらご記入ください。

問9 貴院では、医療情報の電子化について、どのようなシステムを導入していますか。
該当する番号に印(○)を付けてください。(複数回答可)

- 1 : ホームページ開設 2 : オーダーリングシステム
3 : 電子カルテ(文字情報) 4 : 画像情報システム
5 : 医事会計システム 6 : レセプト電算処理システム
7 : ケータイ、スマートフォン、パソコンによる予約受付 8 : その他
9 : 特に導入していない

ご協力、ありがとうございました。